

[トップ](#) [ニュースリリース一覧](#)

ニュースリリース

[検索結果に戻る](#)[PDF\(695KB\)](#)

横浜ゴム、T2が実施するレベル4自動運転トラック幹線輸送の公道実証実験に参画

2024年11月19日

[タイヤ関連](#)[技術関連](#)

横浜ゴム（株）は、自動運転トラックの開発などを行う（株）T2が実施するレベル4自動運転※1トラックによる幹線輸送※2の公道実証実験に参画し、タイヤ検証を行います。車両には来春発売予定のトラック・バス用タイヤの新商品を装着し、自動運転トラック向けタイヤに求められる性能などを検証します。また、今後は自動運転トラック向けのタイヤソリューションサービスについても実用化を進めます。実証実験期間は2024年11月から2026年3月までで、関東～関西間の高速道路上の一部で実施します。

100年に一度の大変革期と言われる自動車産業ではCASE※3やMaaS※4などによる新たなモビリティ社会の実現に向けた取り組みが世界的に進展しています。また、日本では物流の2024年問題※5が社会課題となっています。横浜ゴムは自動車産業に携わる企業の責務として、こうしたモビリティ需要の変化や社会課題の解決に向き合い、EVなどの電動車や自動運転車両向けの技術・商品開発を加速するとともに、新たなタイヤソリューションサービスの確立を目指しています。

レベル4自動運転トラックによる幹線輸送サービスは限定領域においてドライバーがいない状態での運行が可能となるため、物流の2024年問題の解決に貢献するだけでなく、人間以上に安全な運転、高回転・高頻度物流による物流効率の向上、安定走行による燃費の改善など社会・環境に優しく、持続可能な物流の実現が期待できます。T2では2027年にレベル4自動運転トラックによる幹線輸送事業の実現を目指しています。

横浜ゴムはサステナビリティ・スローガンとして「未来への思いやり」を掲げ、事業活動を通じた社会課題への取り組みにより、共有価値の創造を図っています。

※1：特定の走行環境条件を満たす限定された領域において自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態

※2：長距離輸送における主要な輸送路や輸送ネットワークを通じて大量の貨物を効率的に運ぶこと

※3：Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared & Services（シェアリング）、Electric（電動化）の頭文字をとった造語

※4：Mobility as a Serviceの頭文字。地域住民や旅行者の移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済などを一括で行うサービス

※5：2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の960時間上限規制と改正改善基準告示が適用された。労働時間が短くなることで輸送能力が不足し「モノが運べなくなる」可能性が懸念されている問題

代表者コメント

【(株) T2代表取締役CEO 森本成城】

横浜ゴム様には「日本の物流を共に支える」という大義に共感頂き、レベル4自動運転トラックによる幹線輸送サービスの実現にご支援頂けることを大変嬉しく思っております。T2は多様なステークホルダーの方々と密に連携し、少子高齢化先進国における新たなソリューションの創出による日本の産業競争力の維持・強化に寄与すると共に、物流・運送業界の活性化・成長産業への更なる転換に向けて貢献し、持続可能な豊かな社会を次世代へ引き継ぐことを実現させたいと考えております。その為の重要なステップとして本実証を有意義なものとし、社会課題解決に貢献するため、2025年7月のレベル2自動運転トラックでの幹線輸送サービス、そして2027年のレベル4自動運転トラックでの幹線輸送サービスのスタートに向けて尽力してまいります。

【横浜ゴム(株)代表取締役社長兼COO 清宮眞二】

T2様の取り組みは、人々の生活に不可欠である持続可能な物流の実現に大きく貢献するものであり、今回の実証実験におけるタイヤ検証は大変意義深いものだと感じています。横浜ゴムは長年、高性能なトラック・バス用タイヤの開発やタイヤマネジメントシステムの提供などを通じて物流の維持・発展に尽力してきました。その豊富な知見と高い技術力を自動運転トラックによる輸送サービスの実現に活かしてまいります。

実証実験の概要

時期：2024年11月から2026年3月

場所：関東～関西間の高速道路上の一部

役割：

T2：実証実験全体マネジメント、実験用車両の提供

横浜ゴム：検証用タイヤの供給、タイヤ点検を通じた摩耗状態の検証、自動運転トラック向けソリューションサービスの実用化

※本実証はドライバーが乗車して検証を行います。

株式会社T2の概要

本社所在地：東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル1階

代表者：代表取締役CEO 森本成城

設立日：2022年8月30日

事業内容：自動運転システムの開発、レベル4自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイトURL：<https://t2.auto/>

※写真をクリックすると印刷用高解像度画像がダウンロードできます。



T2の自動運転トラック（横浜ゴム本社・平塚製造所で撮影）

※写真をクリックすると印刷用高解像度画像がダウンロードできます。



握手を交わすT2代表取締役CEOの森本成城氏（左）と横浜ゴム代表取締役社長兼COOの清宮眞二

検索結果に戻る

Copyright © THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. All rights reserved.